

(牧師室より)

[大統領選]

米国では大統領の就任に際して聖書に手を置いて宣誓する習わしとなっています。これは聖書の教えに従って職務に誠実に当りますと誓うのでしょう。トランプ氏もそうして就任したのですがその後の4年間を見ると果してどうであったのか、これが今回問われたのだと思います。1から10まで悪かったとは思いませんがアメリカ第一主義はいかかなものだったのか。どの国も自国の利益を第一にするものでしょうが同時に他国のこととか、世界のこととかにも心を配ることが大切でしょう。「自分自身を愛するように隣人を愛しなさい」と言われている通りです(レビ記19・18、マタイ22・39)。この点気候変動に取組もうと定めたパリ協定からの離脱やWHO(世界保健機関)が中国寄りだとして脱退表明する等一寸考えられないようなことをして来ました。こうした氏を支持して来たのが米国における「福音派」ということです。私達も福音主義=プロテスタント教会ですが福音派とは同じではありませんね。福音派は逐語(ちくご)靈感説に立っているようで「聖書の各語が一字一句に至るまですべて神の靈感によってなった」とします。私達も霊の導きを信じますが一字一句間違いなしとはしません。これを批評的に見る余地を認めています。福音派の人々はこうしたところから妊娠中絶や同性愛を認めないようですが果してそれが今日聖書の見方になるのか、そこに慎重さが必要ではないかと思われま